フィルムからの 解像度とホコリに注意する その 大伸ばし

35mm フィルムからでも、A3以上の大判プリントを楽し むことができます。きれいな大判プリントに仕上げるため の作業のポイントをまとめました。まずはスキャン時の 解像度の設定と、ホコリの除去について解説します。



▶ Point 2 ホコリの除去

出力サイズを大きくするほどホコリは目立つ

EPSON Scanには、チェックするだけでホコリや汚れを取って(軽減して)スキャ

ンできる、「ホコリ除去」や「DIGITAL ICE Technology」が用意されています。

- 大きく伸ばせば伸ばすほど、小さなキズやホコリも大きく拡大され目立つようになります。スキャン前の対策をしっか りと行いましょう。
- スキャン前に、フィルムの両面のホコリをブロワーで吹き飛ばし、指紋などの汚れが付いている場合は市販のフィル ムクリーナーを使って拭き取ります。また、スキャナーのガラス面も柔らかい布で拭いて丁寧にクリーニングしましょう。
- それでも除去できないホコリには、EPSON Scanやアプリケーションソフトのゴミ取り機能で対応しましょう。下表 にその方法とそれぞれの特徴を示しましたので、参考にしてください。

「EPSON Scanのホコリ除去機能」

「大伸ばしするほどホコリも目立つ〕

フィルム上のごく小さなゴミも、大伸ばしすると一緒に拡大され、目 立ってしまいます。





[ホコリ除去方法の比較]	機能	使い方	特徴
スキャン時に消えなかったホコリ は、スキャン後にPhotoshop (Elements)の[スポット修復ブラ	EPSON Scanの 「ホコリ除去」機能	スキャン時、該当欄に	簡単。ただし、ホコリの付き具合に よっては、思いどおりに補正されない ことがある。
シツール」などを使って手動で消しま しょう。	EPSON Scanの [DIGITAL ICE Technology]※	ナェックを入れれは自動 で除去される。	簡単。「ホコリ除去」よりも補正力があ る。ただし、処理にパソコンのパワー が必要で、スキャンに時間がかかる。
	Photoshop (Elements)の 「スポット修復ブラシツール」など	スキャン後に画像を開い て、一つずつ手作業で 消す。	手間がかかるが、思いどおりに処理す ることができる。

※対応機種のみ

出力サイズと解像度 ▶ Point 1

フィルムスキャンで解像度を設定する際には…

- プリントしたい用紙サイズに合わせて、11出力サイズと2解像度を設定します。
- 大きなサイズの作品ほど鑑賞者は離れて見る(鑑賞距離が長くなる)ので、解像度を下げても問題ありません。
- 解像度を高くするほどきめ細かな画像になりますが、その分データの容量も大きくなり、スキャン時間、パソコンの処 理時間、プリント時間も長くなります。
- 出力サイズと必要な解像度の目安は、下表を参考にしてください。プリント品質と処理時間を考慮した現実的な参 考値です。



■「出力サイズ」メニューに希望するサイズがない場合 「出力サイズ」に希望するサイズがない



ユーザー定義サイズの設定画面。ここで名称やサイズを入力し、保存すると、それが 出力サイズのメニューに現れるようになり、便利です。

場合は、「ユーザー定義サイズ」を選

び、任意の大きさを入力することで、メ

ニューに登録することができます。

「出力サイズと解像度の関係】

🚺 出力サイズ	2 解像度の目安
A4 (297×210mm) 以下	300~360ppi 程度
A3 (420×297mm)∼ A2 (594×420mm)	200~300ppi 程度
A1 (841×594mm)∼ A0 (1189×841mm)	200~240ppi 程度
B0 (1456×1030mm)	150~180ppi 程度

「出力サイズと解像度の目安]





フィルムからの 大伸ばし

その 2 レタッチのポイント

▶ Point 3 レタッチ(明るさや濃度、色味などの調整)

大きく伸ばすときほど濃度を少し上げておくとよい

- 絵柄にもよりますが、大判でプリントすると浅く見える傾向があります。大きくプリントする際は、多少濃度を高くして おくとイメージに近い仕上がりの写真になります。
- 写真の明るさやコントラスト・濃度・色味の調整は、スキャン時に EPSON Scanの調整機能を用いても、スキャ ン後にPhotoshopなどで調整しても、どちらでも構いません。
- スキャン後に Photoshop などのソフトで調整する場合は、スキャン時に 48bit モードでスキャンしておくと、レタッチ による画質の劣下を最低限に抑えることができます。ただし対応ソフトが限られていますし、ファイルサイズが大きく なるため、パソコンのパフォーマンスが要求されます。

「大きく引き伸ばすほど浅く見える」

「EPSON Scanの画像調整機能]

画像調整を行うことができます。

一般に大判プリントにすると、浅く見えることがあります。実際にプリントし て気になるのなら、画像の濃度を上げましょう。



		-	
-	-1		
-			



スキャン時に濃度や色味などを調整したい場合は、EPSON Scanの調

整機能を利用しましょう。「調整」欄にある各ボタンをクリックすると各種

▶ 48bit でスキャンするには	く EPSON Scan
48bitでスキャンするにはEPSON Scanの「イメージタ イプ」で「48bitカラー」を選択し、スキャンします。ただし	
ータ量が2倍になるため、処理に時間がかかります。	「陳編加度 「陳編加度」 フィルム・フィルム・フィルム・ホック使用] ● フィルム・フィルム ビフ・ジェイン に コ・フィーショイフロ 副の開度 1 (オージョイフロ) 2 (40) カラー ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

フィルムをスキャンして大判プリントする場合、サイズや 絵柄によっては、濃度や明るさ、シャープネスにも注意 が必要です。そうした処理の際のポイントをご紹介しま しょう。



▶ Point 4 シャープ 処理

大きく伸ばすときほどシャープネスは少し強めに

- 絵柄にもよりますが、一般的に、大判にするほどシャープネスを強めに設定することで、写真の見栄えがよくなり ます。
- スキャン時のシャープ処理は弱めにかけておきましょう。EPSON Scanの「アンシャープマスク」で「弱」または「中」 に設定してスキャンします。
- スキャン後には原寸で確認し、それでもシャープネスが足りなければ、Photoshop(Elements)の「ハイパス」フィル ターなどで微調整します。「ハイパス」はやり直しができるのでおすすめです。

EPSON Scanのアンシャープマスク





「Photoshopでのシャープ処理」







プリント後のシャープ感を予測しにくいので、スキャン時は弱めのシャープ ネス処理にしましょう。



スキャン後、Photoshopの「ハイパス」フィルターを使って、最終的なシャー プネス処理を行います。大判にするほど強めに処理すると効果的です。